

## 主に「健康な心と体」が育った実践

### 活動名

「新聞紙玉転がしゲーム」をしよう (11月)

### 保育者の願い(ねらい)

- 全身を使って進みながら、思い切り息を吹きかけて新聞紙の玉を転がす遊びの楽しさを感じることができる。
- 息を吹きかけるとより転がりやすい新聞紙の玉の作り方や、より遠くまで転がすことのできる息の吹きかけ方を考えながら、試行錯誤をして遊ぼうとする。
- 遊びのこつを言葉で表現したり、その考えに興味・関心をもって聞いたりしようとする。
- きまりを守って遊んだり、息を吹いても新聞紙の玉が転がらない友達を助けてあげたりして、みんなで楽しく遊びたいという気持ちをもとうとする。

### 援助のポイント

- 「うれしい」「悔しい」「できるようになりたい」など、自分の思いを言葉で表現できるように助けたり、それを受け止めたりする。
- 遊びの合間に「新聞紙玉転がしゲーム」のコツ(新聞紙の玉の作り方や、息の吹きかけ方等)を言葉で表現させたり、それを聞かせたりして、みんなで考える場を設けさせるようにする。



### 環境構成の工夫

- 安全に遊ぶことができるよう、室内の机やいすを端に寄せて広い空間を取り、安心して遊べるようにする。
- ビニールテープでスタート・ゴールラインを分かりやすくしたり、ゲームの際の動きを一方通行にしたりして、子供たちが安心して遊ぶことができるようにする。
- 活動の場のすぐ側に、多くの新聞紙やテープを準備して、息を吹きかけるとより転がりやすい新聞紙の玉を試行錯誤して作ることができるようにする。
- 遊び以外の時はマスクを付けて飛沫対策を講じるようにする。



### これまでの経緯

- 新聞紙を使った制作ごっこ(折り紙と併せて「果物」作り等)や、ちぎった新聞紙を袋に詰めてボールにした遊び、じゃんけんをして負けたら新聞紙を折りたたんでいく遊び等、新聞紙を使う遊びに親しんできた。
- 新聞紙の玉を自由に作って、息を吹きかけて飛ばす遊びをさせた。遊びを通して気付いたことを言葉で表現したり、聞いたりすることで、その後の「新聞紙玉転がしゲーム」を楽しむための手掛かりとした。

くしんぶんしたまごころがしゲーム  
・とおくまで飛ばせ!  
→ いきせにくしんぶんをきかけたから。  
テープをたくしんぶんはるどしんぶんしがつうつろに  
おくとすべりやすくなる。  
ちいさくするといこつきのほねめたいに  
くうきでいこつがすくよくなる。  
・とおくにたすかいいと、いけがとどけたい  
・とおくまで飛ばせようね!

## 当日の活動内容

- みんなが楽しく、安全に遊ぶための「新聞紙玉転がしゲーム」のルールを聞く。
- どうしたら遠くまで転がる新聞紙玉になるか考えて、いろいろな新聞紙の玉を作る。
- 自分で作った新聞紙の玉に息を吹きかけながら転がして進み、誰が早くゴールまでたどり着くかタイムを競うゲームをする。
- ゲームの合間に、新聞紙やテープのある場所で息を吹きかけてより転がりやすい新聞紙の玉はどんなものかを考え、試行錯誤して作り直す。
- ゲームの合間にクラスみんなを集めて、上手に新聞紙の玉を転がすことができる子供に「どんな玉を作ったか?」「どのように吹いているのか?」を聞いて、みんなでそのコツについて話し合いをする。



※今後の展開として、チーム（グループ）対抗戦や、いろいろなコースを作って新聞紙の玉を転がしたりするゲームに発展させて遊ばせる。

## 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の表れ

- 思いきり息を吹きかけて新聞紙の玉を転がしたり、進む新聞紙の玉を全身を使って進みながら追いかけたりしながら楽しく遊ぶ姿が見られた。（健康な心と体）
- 息を吹きかけてよく転がる新聞紙の玉を、大きさやテープの巻き方、重さ等を考えて、工夫を凝らして作っていた。（思考力の芽生え）（豊かな感性と表現）
- ゲームの中で、勝ったり負けたりしながらも、自分の気持ちを調整し、ルールを守って友達と楽しく遊んでいた。（道徳性・規範意識の芽生え）（社会生活との関わり）
- 新聞紙の玉を吹いて思うように飛ばすことができなくても、最後まで諦めず、ゲームに粘り強く取り組む姿が見られた。（健康な心と体）（自立心）
- 「新聞紙玉転がしゲーム」のコツを言葉に表現して伝えていた。（言葉による伝え合い）
- 友達と一緒に仲良く楽しんで遊ぶことができていた。（協同性）



## 小学校教育とのつながり

- 息を思い切り吹いて新聞紙の玉を転がすことは、心肺機能や体力の向上につながります。また、新聞紙の玉を吹きながら継続して進めるために、体を低い姿勢で保つことも、体力の向上につながります。
- 息を吹きかけて転がる新聞紙の玉作りは、生活科のおもちゃ作りや図画工作の学習につながります。
- 室内で安全にあそぶためにルールを守って遊ぶことは、学級活動の「よりよい人間関係の形成」につながります。
- 運動遊びを通して、ルールを理解し、それを守って遊ぼうとする姿は、道徳性や安全意識の育成につながっています。

